

化学工業日報に当社の記事が掲載されました

掲載日	2026年6月30日
媒体名	2026年6月30日付の化学工業日報に、当社に関する記事が掲載されましたのでお知らせいたします。
用途	バイオスティミラント材

紙面

富士タルク工業

廃培地BSの展開加速

国産循環資材で需要開拓

富士タルク工業が、えのき茸の廃培地を原料にしたバイオスティミラント（BS）資材の展開を本格化している。2022年の



フルボ酸、フミン酸、アミノ酸などの有用成分を含む「ジソックス（リキッドタイプ）」

富士タルク工業が、えのき茸の廃培地を原料にしたバイオスティミラント（BS）資材の展開を本格化している。2022年の

向けが多くを占め、農業分野では育苗用途を中心に試験と実績の蓄積を進めており、有機栽培向けの機能性資材として提案を強めている。

特徴は、天然由来でありながら品質を安定させやすい点にある。えのき培地は仕様が一定で、同じ原料を同じ工程で発酵できるため、ばらつきを抑えやすい。用途面では、芝の根張りや踏圧後の回復、農業では育苗時の使用による活着の良さなどで手応えを得ている。

同社が農業分野と接点を持ったのは、海外取引を通じてこの培地原料の輸入に関わったことがきっかけ。その過程で、えのき茸農家で発生する廃培地の再利用相談を受けて資材化に着手。廃菌床と独自の培養菌などを発酵させ、BS製剤を商品化した。原料に国内で発生する廃培地を活用しているため、資源循環や環境負荷低減につながる。

製品ラインアップとして、農業向けに「ジソックス」、ゴルフ場向けには「肥料一番」を展開する。発酵工程を通じて、フルボ酸、フミン酸、アミノ酸など複数の有用成分を自然に含んでおり、植物の健全な生育を支える。現在はゴルフ場

販売は拡大基調にあり、今年1月には、より安定した品質を確保するため乾燥設備を導入した。水分量を従来より抑えることで保存安定性を高め、品質の均一化につなげている。



バイオスティミュラント剤

ジゾックス

ジゾックスは、キノコ菌床の分解から生まれた
バイオスティミュラントです。



ジゾックスは、キノコ菌による分解とその後の発酵過程を経て
生成された複合有機成分を豊富に含んでいます。

ジゾックスに含まれる有用成分



アミノ酸



フルボ酸



フミン酸



ヒューミン



FUJITALK

富士タルク工業株式会社

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

〒540-0028 大阪市中央区常盤町1-1-18 TEL.06-6943-9530 FAX.06-6943-9543



fujitalk.co.jp